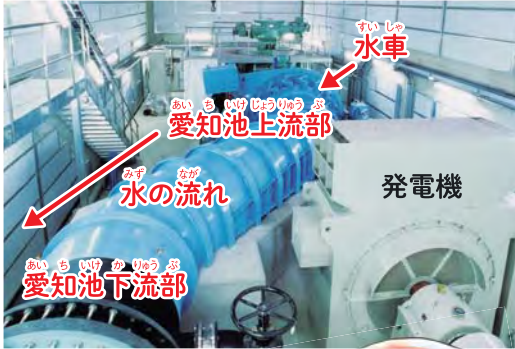


～新たなエネルギーを生む二期事業～



東郷発電所の内部

愛知用水では、愛知池から下流の幹線水路へ放流するときの落差(約20m)を利用して、水力発電をしています。

管に水を通して水車を回し発電機を回転させて電気を作っています。ここで作られた電気が愛知用水の管理に使われています。



水車

これが愛知用水
幹線水路の
ほぼ中央にある
愛知池だよ。



東郷発電所の年間
発電電力量は7,273Mwh

[2018年(平成30年)実績]

これは約1,600世帯分の一般家庭の
使用量に相当します。



豆知識

地域と愛知池



愛知池のまわりは水や緑がたくさんある憩いの場として使われています。水際にそった周回道路(約7.5km)ではマラソン大会、湖面ではボート競技が行われています。

色々な役割
があるだね



愛知池の役割

①下流に送る水の量を調節

愛知池に送られてきた水は、いったんためておき、必要のときに送り出します。

②水を早く送る

幹線水路は約112kmと長いため、兼山取水口から美浜調整池まで水が届くのに約13時間かかります。これを愛知池から送り出すことにより、時間を短くすることができます。

③降雨を有効に利用

木曾川の沿線で雨が降って、川の水が多くなったときに愛知池にためておきます。